Combi

コンビ ベビーカー
Acbee plus
取扱説明書

品質保証書付

安全基準B型
（7ヵ月～48ヵ月ころまで）

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための１人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 望ましい連続使用時間：１時間以内
- 使用できるお子さまの月齢
  生後７ヵ月※以上48ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安18kg以下）
  ※生後７ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、７ヵ月経過したお子さまを示します。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
  ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の２つに区分して示してあります。
  安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

ワンポイント	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

- 破損や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

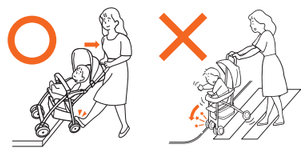
- カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。

- 排水溝のふた（グレーチング）や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。十分注意して進んでください。

- 車輪が溝にはさまったときは、はさまった方のフレーム（パイプ）とハンドルを持って、車輪を引き上げてください。その際、お子さまや荷物が乗っている状態では、ベビーカー全体を持ち上げないでください。

- ベビーカーに同時に２人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外のところに乗せないでください。

- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、後脚ステーの後脚ステップに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。



- お子さまを乗せ降ろしする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。
- ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。電車から降りる際は、使用者が先に降りると電車とホームのすき間を確認しやすくなります。十分注意して乗降してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。

お子さまがケガをするおそれがあります。

- お子さま自身での乗り降りは、転倒や指はさみなどの危険がありますのでおやめください。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 保管時にシート背面から肩ベルトまたは腰ベルトが出ていないことを確認してください。出たままにしておくとお子さまの首や手足に巻き付くおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。（「ベビーカーの開きかた」の警告内の図参照）

お子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してください。

- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

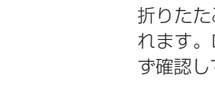
⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
  目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。
  転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。
  破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
  ベビーカーの破損の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
  ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを横向きに寝かせたり、上に荷物などを重ねた状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
  長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。１時間以内で休憩をとるなどしてください。
- 鉄道やバスの中での使用について
  本製品は、鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、十分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。
  速度を落とし、十分注意して走行してください。
- 車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、破損のおそれがあります。
- 肩ベルトの色が摩擦によりお子さまの薄い色（白、ベージュなど）の衣服に、色移りすることがありますのでご注意ください。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠注意
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
- ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。横向きに寝かせて保管すると、故障や変形の原因となります。



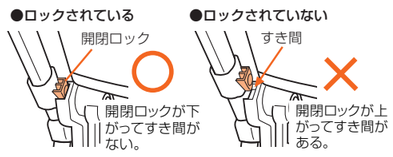
点検とアフターサービスについて

- ご使用の前に、締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか点検してください。
- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみ、タイヤの磨耗、シートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、シート下の車体後側から見て右パイプ側面に貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売は、原則として製品の製造中止から３年後までとなります。この期間内でも該当部品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

ベビーカーの開きかた

⚠警告
- ベビーカーを開くときには、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、左右の開閉ロックが下がってすき間がないことを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。

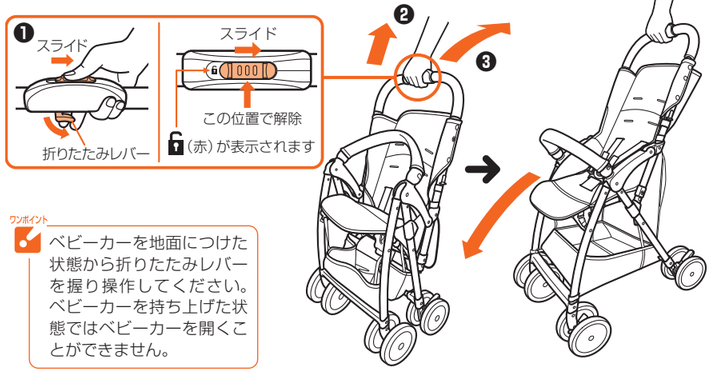
※下記のイラストはシートの背もたれ下部です。



- 手元ロックスライダーが元の位置に戻り、折りたたみがロックされていることを確認してください。

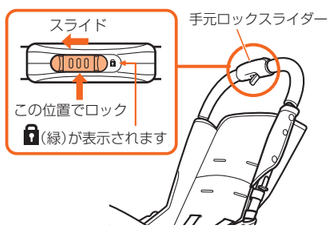
⚠注意
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。
  転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。

1. ❶手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、
❷ハンドルを持ち上げ、
❸そのままハンドルを手前に倒す。
ベビーカーが完全に開きます。



ワンポイント
ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態ではベビーカーを開くことができません。

2. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。
折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



レシート（領収書）貼り付け欄

品質保証書　コンビ ベビーカー

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。

保証規定
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
   (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
   (b) 縫製品の傷ややぶれ、変色。
   (c) 部品の紛失。
   (d) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
   (e) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
   (f) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (g) 本書のご提示がない場合。
   (h) 一般家庭以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
   (i) 有料修理の場合に要する発送運賃。
   (j) 車輪の自然摩耗。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

製品名	ロットNo.（車体後側から見て右パイプ側面にあるシールに記載）	お買い上げ日　年　月　日	保証期間　お買い上げ日より１年間（ただし保証規定による）
お客様	お名前　様	ご住所　〒	TEL
販売店	店　名	住　所	TEL

修理メモ

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- このページ上部のレシート貼り付け欄にレシート（領収書）をお貼りください。
- 万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。
- 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客さまの故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi
コンビ
ベビーカー
Acbee plus

コンビ株式会社

■ホームページ　combi.co.jp
■オンラインストア（部品購入窓口）　combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）
受付時間：9:30～17:00（土日祝日、年末年始を除く）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.（048）797-1000　FAX.（048）798-6109

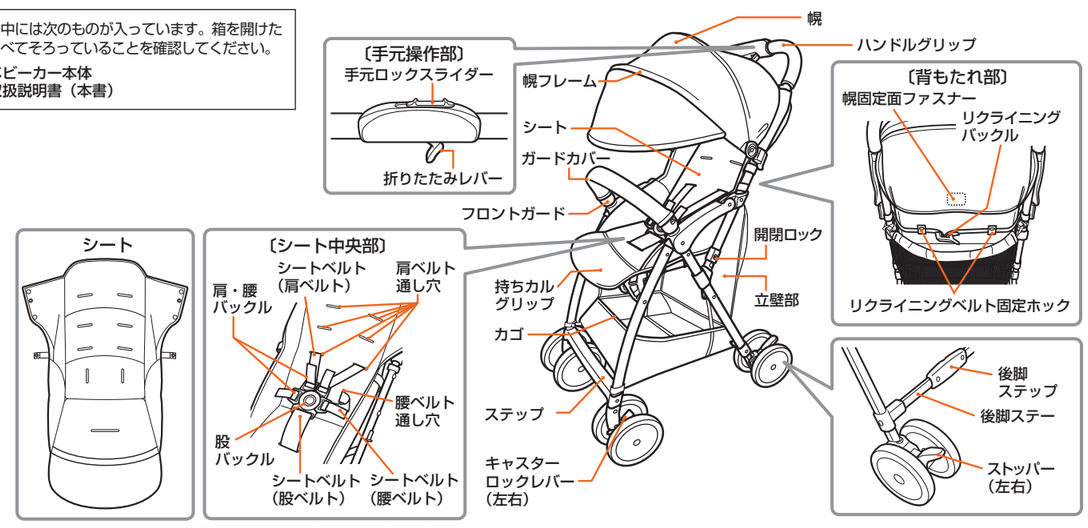
コンシューマープラザ（Customer Service Center）/西日本担当
受付時間：10:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.（06）6942-0379　FAX.（06）6942-0302

＊コンシューマープラザホームページ　combi.co.jp/soudan

193686010　24.07

各部のなまえ

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。
●ベビーカー本体
●取扱説明書（本書）



※シートを取りはずした状態でお子さまを乗せて使用することはできません。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

※ 部品を取りはずす際は、プラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤、漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。
※ 腰ベルトを洗う際は、バックルをあらかじめ取りはずしてください。
※ 肩ベルトを洗う際は、バックルと肩ベルトストッパーをあらかじめ取りはずしてください。
※ バックルと肩ベルトストッパーは洗濯機では洗えません。
※ ガードカバーは取り外しできません。お手入れ方法は、本ページの「車体の清掃について」に従ってください。

●シート、肩ベルト、腰ベルトの洗濯
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 洗濯機をご使用のときは、洗濯用ネットに入れてください。ほつれや傷みの原因となります。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●股ベルト、幌、カゴのお手入れ
- 幌は分解できません。
- 液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤を付けたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 股ベルトははずすことができません。

SGマークの被害者救済制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。
ベビーカーの場合は、お買い上げ日より４年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意
認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合
損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 製品安全協会
東京都台東区竜泉２丁目20番２号 ミサワホームズ三ノ輪２階
https://www.sg-mark.org/reparation/

事故の届出に必要な項目	
① 事故の原因となった製品現品	・製品名称、ロットNo.・購入先、購入年月日
② 事故発生の状況	・事故発生年月日・事故発生場所・事故発生状況
③ 被害の状況	・被害者の氏名、年齢、性別、住所・被害の状況

車体の清掃について

⚠注意　車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品、ガードカバーの汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

⚠注意　お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコーン系）を注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすくなりますので少量を注油してください。
- 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの『標準使用期間』について

ベビーカーの『標準使用期間』は「新規購入後５年」です。
標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があり、この期間の品質を保証するものではありません。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
  品質保証書に記載している「お買い上げ日より１年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

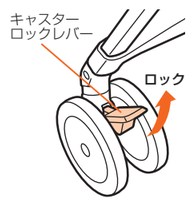
ベビーカーの折りたたみかた

⚠警告　ベビーカーを折りたたむときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

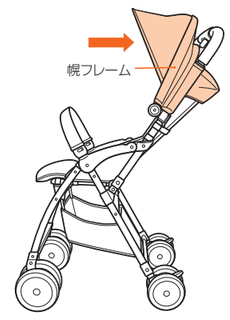
⚠注意
- 折りたたむときは、幌をたたんだ状態にしお子さまの頭部側に幌フレームが引かれていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、１度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたみ後、手元ロックスライダーがロックされているか確認してください。
- 車のトランクなどに入れて外出する場合は、幌に負荷がかからないようにしてください。変形や破損の原因になります。
- カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむときの留意点
  - 変形や、やぶれやすい荷物は避けてください。
  - 無理なく折りたためることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
  - 荷物を入れたまま折りたたんだ後や、荷物を入れた状態からベビーカーを開いた後は、開閉ロックがしっかりかかっていることを確認してください。
  - 折りたたんだ状態や、荷物の置き方によっては荷物が落下するおそれがあります。
  - 荷物を入れていない状態に比べて、転倒しやすくなります。

- ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。
- キャスターロックレバーを使用する際、車輪は下の図の位置以外では使用しないでください。

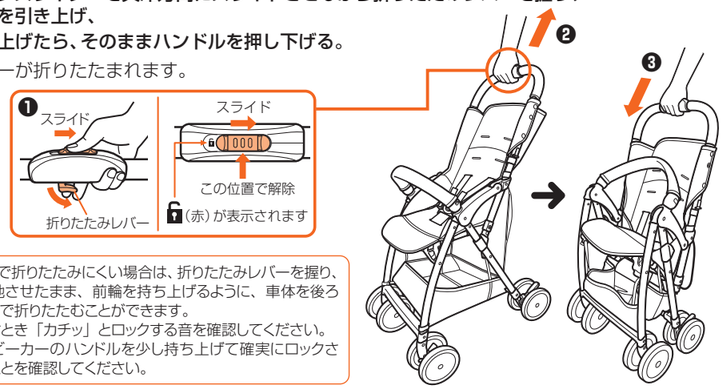
1. 左右のキャスターロックレバーを上げて、ロックする。



2. 幌フレームを１番後側に引いてたたんだ状態にする。
「幌の使いかた」をご覧ください。

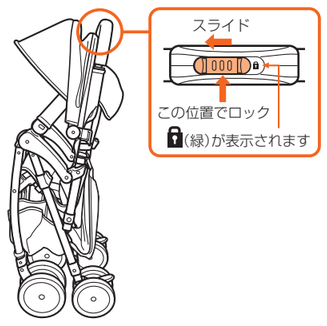


3. ❶手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、
❷ハンドルを引き上げ、
❸十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。
ベビーカーが折りたたまれます。



ワンポイント
- 上記の方法で折りたたみにくい場合は、折りたたみレバーを握り、後輪を接地させたまま、前輪を持ち上げるように、車体を後ろに倒すことで折りたたむことができます。
- 折りたたむとき「カチッ」とロックする音を確認してください。また、ベビーカーのハンドルを少し持ち上げて確実にロックされていることを確認してください。

4. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。
折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



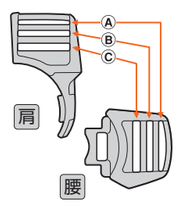
シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）の使いかた

⚠警告
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。
  また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
  シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 左右の肩ベルトを交差した状態で取り付けないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

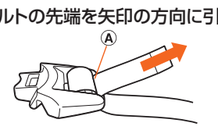
肩・腰ベルトの長さを調節するとき

肩・腰バックルのベルト通し（ⒶⒷⒸ）



【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。



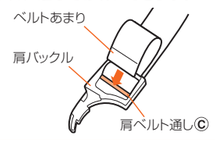
※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

【ゆるめるとき】

バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。
バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

⚠警告 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っぱり、それぞれのバックルから抜けないことを確認してください。

ワンポイント
- ベルトの調節の目安がわからない。
  →お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトの先端がお子さまの顔の付近にくるときや、お子さまが引っぱって遊んでしまうあまりは、肩バックルのベルト通しⒸ部分に通してお使いできます。



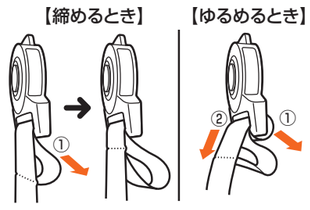
股ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、適切な長さまで引く。

【ゆるめるとき】

股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。
股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

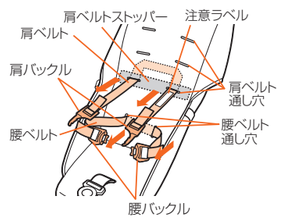


ワンポイント 股ベルトは、取りはずしできません。

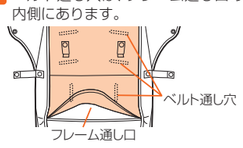
肩・腰ベルトの取り付けかた

肩・腰ベルトは、シートの左右のベルト通し穴にシート裏側から通す。

肩ベルトはお子さまの肩にあわせて、高さを調節してください。



ワンポイント
ベルト通し穴は、フレーム通し口の内側にあります。



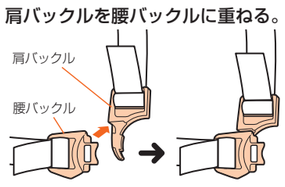
肩ベルトは図のように肩ベルトストッパーに通してください。

※肩ベルトを洗うときは、肩ベルトストッパーから、肩ベルト、バックルをはずしてください。

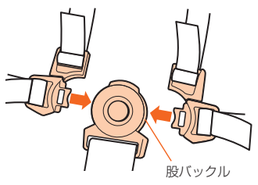
シートベルトを締めるとき

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。

2. 肩バックルを腰バックルに重ねる。



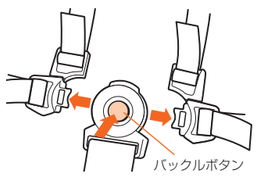
3. 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。



4. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。

シートベルトをはずすとき

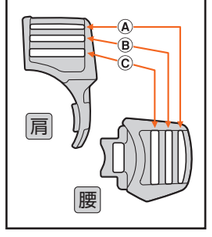
バックルボタンを押す。



ワンポイント
- 長さ調節時にシートベルトを肩・腰バックルからはずしたときは、「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」をご覧になり、確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 肩・腰バックルをはずしづらい場合は、バックルボタンの両側を交互に押して、片側ずつはずしてください。

肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき

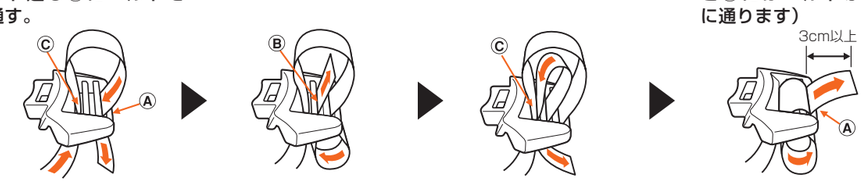
肩・腰バックルのベルト通し（ⒶⒷⒸ）



⚠警告
- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

※ 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。
※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

1. バックルのベルト通しⒸにベルトを通し、ベルト通しⒶにベルトを通す。
2. ベルト通しⒷにベルトを通す。
3. ベルト通しⒸにベルトを通す。
4. ベルト通しⒶにベルトを通す。（ベルト通しⒶとⒸにはベルトが2重に通ります）



フロントガードの使いかた

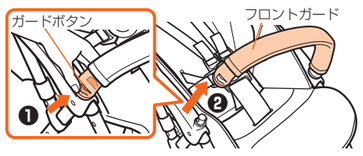
⚠警告
- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。
- ベビーカーを開いた状態で、フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

⚠注意
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードを片側だけはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形の原因となります。取りはずしたフロントガードはなくさずに保管をしてください。

●お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。
●フロントカードを取りはずした状態でもご使用できます。
フロントガードを取りはずした状態でもベルトは必ず装着してください。

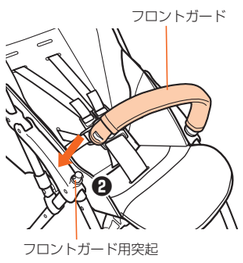
フロントガードを開くとき

❶ ガードボタンを矢印方向に押しながら、
❷ フロントガードをまっすぐ上に引き抜く。



フロントガードを閉じるとき

1. フロントガード用突起にフロントガード差し込み部を「カチッ」と音がするまで差し込む。
2. フロントガードを引っぱって、はずれないことを確認する。



ワンポイント
- フロントガードは左右どちらからでも開閉ができます。
- ガード差し込み部がねじれているとフロントガードは引き抜けません。
- ガードカバーははずすことができません。

持ちカルグリップの使いかた

●持ちカルグリップは、ベビーカーを折りたたんだ状態で持ち運ぶときに使用します。

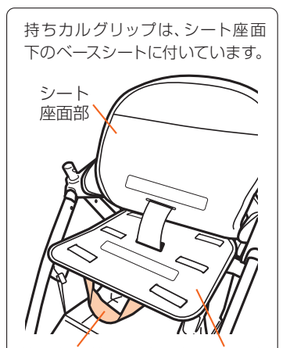
⚠警告 お子さまを乗せたまま使用しないでください。手がすべったり、ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

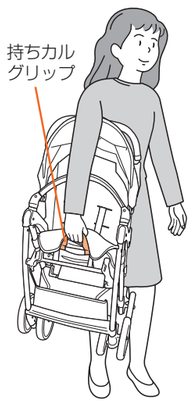
⚠注意
- 持ちカルグリップに過度の力を加えないでください。故障や破損の原因となります。
- 必ず折りたたんだ状態でご使用ください。
- 本来の目的以外で使用しないでください。

折りたたんだ状態のハンドル側から、ベースシート裏側に付いている持ちカルグリップをつかむ。

幌を図のように折りたたんだ状態で、脇の下にハンドルをはさむように使用してください。（右図参照）

持ちカルグリップは、シート座面下のベースシートに付いています。



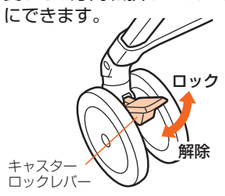


キャスターの使いかた

キャスターを使用するとき

キャスターロックレバーを下げて、ロックを解除する。

キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。



キャスターを使用しないとき

キャスターロックレバーを上げてロックする。
キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

後脚ステップの使いかた

縁石などの段差を乗り越えるときは、後脚ステーにある後脚ステップに足をかけ、段差を乗り越える。

ストッパーの使いかた

⚠警告
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠注意 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. 車体後側のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

⚠注意 ストッパーを完全に下まで押し下げないと、ストッパーのロックがかからないことがあります。しっかりと押し下げてご使用ください。

ストッパーのロックを解除するとき

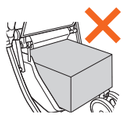
車体後側のストッパーを押し上げてロックを解除する。

カゴの使いかた

●立壁部は車体に付けても取りはずしても使用できます。
●立壁部を使用するとカゴの収納容量を拡大することができます。

⚠警告 立壁部を使用する場合、U字フック付き固定用ベルトをハンドルパイプ中央部（図A参照）に巻きつけU字フックにとめて使用してください。誤った位置に取り付けた場合、左右の開閉ロックに干渉し急に折りたたまれるおそれがあります。

⚠注意
- 耐荷重以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 固定用ベルトやU字フック付き固定用ベルトは指定の位置にしっかり取り付けてください。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびやぶれの原因となります。
- 立壁部を使用しない場合は、U字フック付き固定ベルトを指定の位置にしっかり固定してください。立壁部やU字フック付き固定用ベルトが足元にきたり車輪にはさまるおそれがあります。

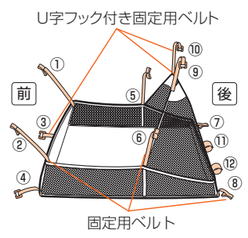


- カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむときの留意点
  - 変形や、やぶれやすい荷物は避けてください。
  - 無理なく折りたたみできることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
  - 荷物を入れたまま折りたたんだ後や、荷物を入れた状態からベビーカーを開いた後は、開閉ロックがしっかりかかっていることを確認してください。
  - 折りたたんだ状態や、荷物の置き方によっては荷物が落下するおそれがあります。
  - 荷物を入れていない状態に比べて、転倒しやすくなります。
- 立壁部を使用するときの留意点
  - 角のとがったものは入れないでください。カゴの変形およびやぶれの原因となります。
  - 立壁部にかさの高い荷物を入れた場合、リクライニング背もたれを最も倒した状態になりにくくなる場合があります。また、荷物が背もたれ部にあたりお子さまの背中に当たる可能性があります。
  - 立壁部に荷物がよると、荷物を入れていない状態に比べて転倒しやすくなります。

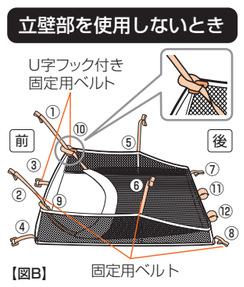
※荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。

耐荷重5kg

立壁部を使用するとき



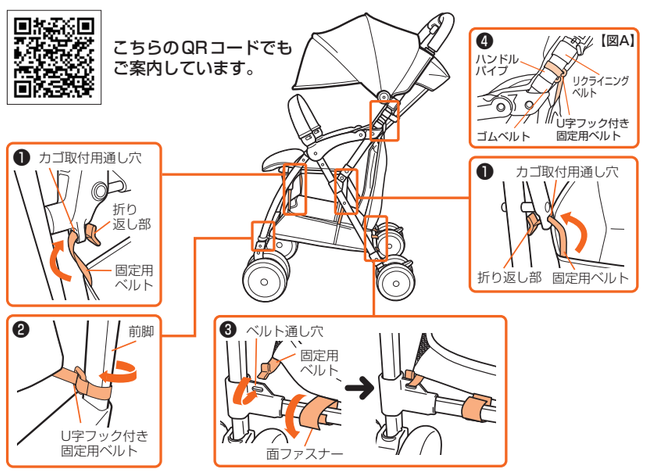
立壁部を使用しないとき



立壁部を使用するとき

1. ❶カゴ前後左右の固定用ベルト①②⑤⑥を、前脚後脚の中間付近にあるカゴ取付用通し穴（4カ所）に通し、ベルト先端の折り返し部を引っかけてとめる。
   ❷カゴ前方下側のU字フック付き固定用ベルト③④を、前脚下部に巻きつけて、U字フックにとめる。
   ❸カゴ後方下側の固定用ベルト⑦⑧を後脚下部のカゴ取付用通し穴（2カ所）に通し、ベルト先端の折り返し部を引っかけてとめる。カゴ後部の面ファスナー⑪⑫を後脚ステーの両サイドに巻きつけてとめる。
2. ❹カゴ立壁部のU字フック付き固定用ベルト⑨⑩を、ハンドルパイプの中央部にあるリクライニングベルトとゴムベルトの間に巻きつけて、U字フックにとめる。
3. 最後に各固定用ベルト、面ファスナーがたるみすぎていないか、また、それぞれしっかりとまっているか、引っぱって確認する。

こちらのQRコードでもご案内しています。



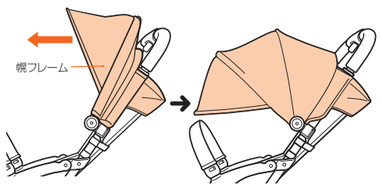
立壁部を使用しないとき

1. 立壁部を使用する取り付け方法❶❷❸の手順に従い固定用ベルト①～⑧及び面ファスナー⑪⑫を取り付ける。
2. 立壁部を内側に折るようにし、U字フック付き固定用ベルト⑨⑩をカゴ前部固定用ベルト①②の根本（図B参照）にU字フックでとめる。
3. 最後に固定用ベルト、面ファスナーがたるみすぎていないか、また、それぞれしっかりとまっているか、引っぱって確認する。

幌の使いかた、はずしかた、取り付けかた

使用するとき

両手で幌フレームを持ち、幌を前に広げる。



収納するとき

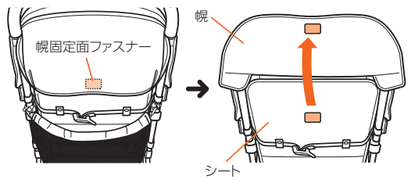
使用するときの手順を逆に行って、幌フレームを1番後側に引いてまとめる。

●ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌フレームを1番後側に引いてください。

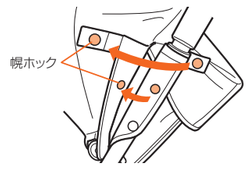
⚠警告 幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

はずしかた

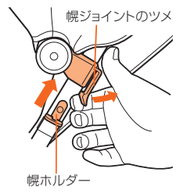
1. 幌とシートをとめている幌固定面ファスナーをはずす。



2. ハンドルパイプにとめている幌ホック（左右各2ヵ所）をはずす。



3. 左右の幌ジョイントのツメを手前に引き上げながら、幌ホルダーから引き抜く。



ワンポイント 収納時や景色を見せてお散歩するときは、先端幌を外側にめくって使用することができます。

取り付けかた

はずしかたの逆の手順で取り付ける。

⚠注意 幌を取り付けるときは、幌固定面ファスナーを必ずとめてください。お子さまの頭に当たるおそれがあります。

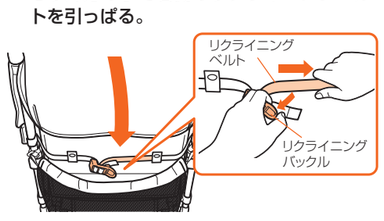
リクライニングの使いかた

⚠警告
- リクライニング操作時には、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠注意
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。

背もたれの倒しかた

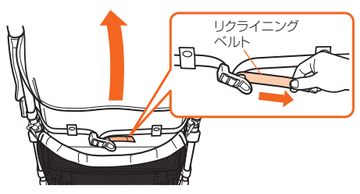
1. リクライニングバックル引き上げながら、もう片方の手で右側のリクライニングベルトを引っぱる。



2. 背もたれを倒す。

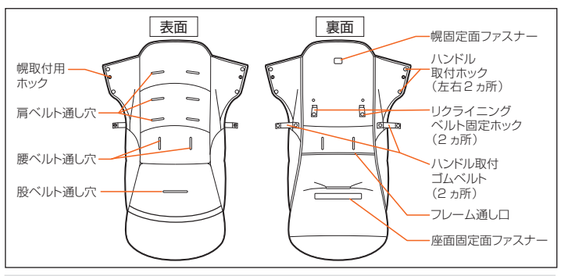
背もたれの起こしかた

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトの先端を引っぱる。



シートの取りはずしかた、取り付けかた

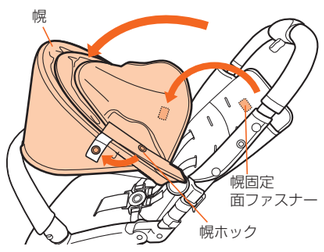
⚠警告
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- シートを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガややぶれなどの原因となります。また、シートのはさみ込みにより、開閉操作やキャスターの動きに動作不良を起こすおそれがあります。



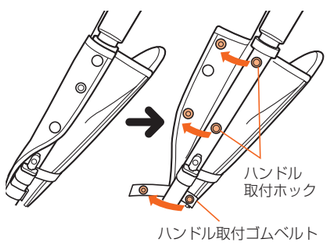
●取り扱いかた
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。
ニット生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

取りはずしかた

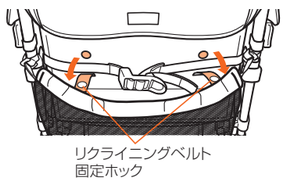
1. 幌固定面ファスナーと幌ホック（2ヵ所）をはずし、図のよう幌を前に倒す。



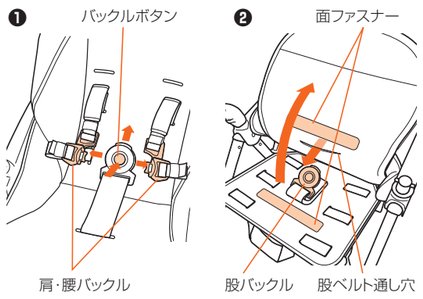
2. 左右のハンドルパイプについているシートのハンドル取付ホック（左右各2ヵ所）をはずし、ハンドル取付ゴムベルト（左右）をはずす。



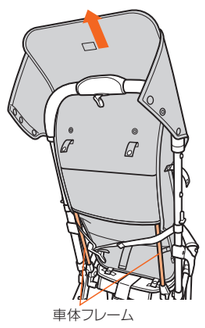
3. シート背面のリクライニングベルト固定ホック（2ヵ所）をはずす。



4. ❶バックルボタンを押して肩・腰バックルをはずす。
   ❷座面の面ファスナーをはずし、シートの股ベルト通し穴から、股バックルを引き抜く。



5. 車体フレームからシートを取りはずす。



ワンポイント シートをはずしているときは、股ベルトが面ファスナーに触れないようにご注意ください。

ワンポイント 洗濯の際は、あらかじめ肩・腰ベルトを取りはずしてください。取りはずしかたは、「肩・腰ベルトの取り付けかた」を参考にしてください。

取り付けかた

取りはずしかたの逆の手順で取り付ける。